

# bibligare

● まちなか図書館情報紙 — [ビブリガーレ]

世界を広げ、まちづくりに繋げる  
“知と交流の創造拠点”

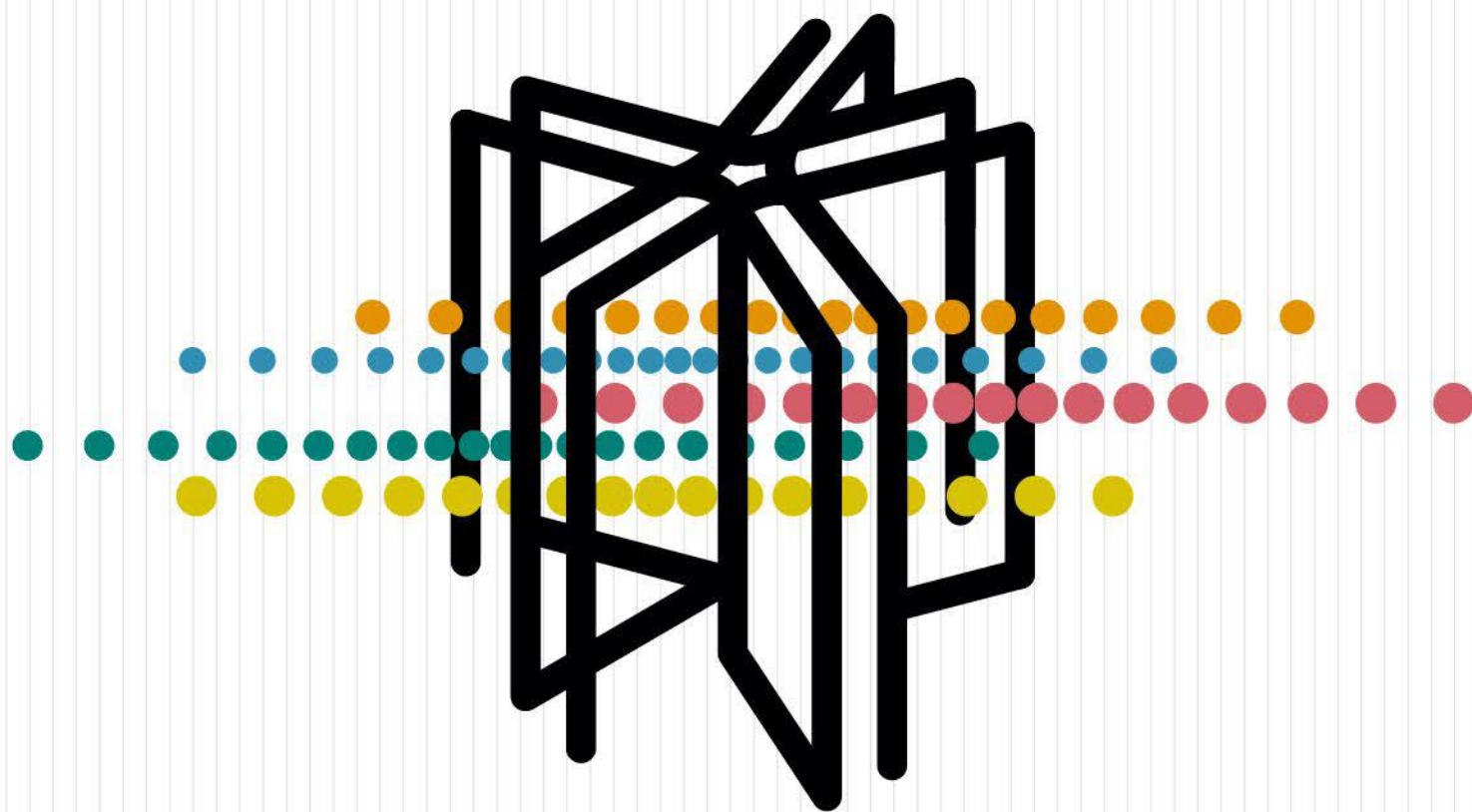
まちなか図書館情報紙「bibligare」とは  
bibliは「本」、ligareは「つながる」を意味し、  
本を通して人、街に繋がる図書館をイメージした造語です。

- 特集1 — こんなふうに使いたい!  
まちなかPLAYERの  
まちなか図書館
- 特集2 — まちなか図書館  
プレオープン!?  
まちなか図書館に入る本  
まちなか図書館司書の業務報告

● 発行=豊橋市

## 2021年11月OPEN!

駅前大通二丁目 emCAMPUS EAST 2F・3F



# まちなか 図書館

### ロゴマーク決定!

まちなか図書館に多様な人や色とりどりの情報が集まり、  
そこから世界に広がっていく様子を表しています。  
どんな交流が生まれ、その交流がどんなまちをつくっていくのか、楽しみが膨らみます!

カウンタダウンまちなか図書館

まちなかから世界へ発信!



**ファッションやアートの本でまちを盛り上げて!**  
**齊藤健太さん**  
**woncl's(セレクトショップ)**  
 まちなか図書館はウチから館内が見えるくらい(近所)になるので、まちなか広場とあわせてとても楽しみです。地域の人の期待も感じますね。ファッションやアート関係の本が充実しているという点も、新しいお店と伝統のあるお店の混在が水上ビルの特長ですが、まちなか図書館にも赤ちゃんから年配の方までいろいろな人が来て、近所へも足をのばしてもらえると嬉しです。

**図書館は、異界への入口!?**

**まちなかにも…**  
**内浦有美さん**  
**株式会社つちうら(ぼったり堂)**  
**代表取締役**  
 豊橋の妖怪や民話と出会って、八年が経つ。出会った時のことを今でも忘れない。中央図書館の2階、郷土資料コーナーだった。軽い気持ちでその中の冊「片身のスズキ」を手に取り、開いた瞬間、妖あやかしや化物たちが飛び出してきたのだった。次の頁からは後光が漏れ出ていて、開くと、お地蔵様や観音様が微笑んでいた。図書館は、異界への入口である。様々な異界がまちなかに開かれることを楽しみにしたい。



**電車やバスで図書館に! 思い出づくりのお手伝いを。**



「この思いで、令和3年度に、いろいろな方と力を合わせて絵本を制作する予定です。図書館で読んでいただいたり、読み聞かせの二冊として活用していただいたり、絵本と併せて楽しみながら乗り物について学べる企画を考えています。」  
 「図書館へ行く時は電車やバスに乗れるんだ!と子供たちがワクワクする場所になるように、図書館と乗り物の思い出づくりのお手伝いができればと思っています。」



**攻めて! 情報発信の場に**

**仙島文さん**  
**Aukai**  
**General Store(服・雑貨)**  
 図書館を受け身の場所ととらえずに、自分から発信できる企画を考えて、面白い場所にしてきたいです。ハワイ関連のイベントとかやってみたいですね。学生さんや子どもたちが勉強できる場所がまちなかに増えることで、豊橋に広がる世界の情報や芸術にふれる機会もなるんじゃないかな。いろんな本に出会えると嬉しい。「なんでこんな本が図書館にあるんだ!!」って思わせられます。攻めた本選びに期待しています(笑)。

**こんなふうに使いたい!**  
**まちなかPLAYERの**  
**まちなか図書館**

まちなかで集い、行き交い、活動する「まちなかPLAYER」の活躍を、情報や施設で支援する。これもまちなか図書館の役割のひとつです。ここではそんなまちなかPLAYERから寄せられた期待と応援の声を紹介します。楽しそう、と感じたらあなたもまちなかPLAYERに!



**まちなか広場とともに**

**まちなかの魅力を  
知るきっかけに。**

**豊橋市役所まちなか活性化課**  
 まちなかに図書館があると、イベント帰りや仕事帰りに立ち寄りて勉強したり読書したりと、幅広い世代の方がいつそまちなかに親近感をもてくださると思います。そんなみなさんと一緒にまちなか図書館を盛り上げていきたいです。新たな人や文化、知識の交流の拠点として、いろいろな方に知遇の機会をもち、まちなか図書館と連携した企画などで多くの方にご利用いただけるよう、積極的に情報発信していきます!

**公演の知識に触れる場所**



**矢作勝義さん**  
**穂の国とよはし芸術劇場 PLAT**  
 PLATを訪れたお客様がまちなか図書館に立ち寄り、公演に関連する書籍を手にとったり、これから観劇する公演や参加するイベントについての知識に触れたりする機会が増えそうです。公演に関連する書籍や戯曲を読み解く講座や、演劇や劇場についての文章を書く教室などを実施して、図書館と劇場の間に人の流れをくれたらいいですね。そのためにも劇場に関する書籍がしっかりと揃った地域にふさわしい蔵書になることを期待します。

**つながりの生まれる  
わくわくする場所に**

**橋口陽子さん**  
**dokeoie(美容室)**  
 本を読む人にはもちろんですが、読まない人にも、未知なるものの発見やなつかしいものとの再会など、いろいろな出会いがあるわくわくする場所になってほしいです。当店ではワークシヨップや展覧会などを開催しているのですが、人気の差で予約がなかなか取れない学校で実際にできることのできる靴やバッグを展示していただけるみなさんと新しいつながり、楽しみにしています。



**TOYOHASHI  
ライターズ**

絶賛活動中

豊橋大好きな人が集まって表現力を磨く、「大人の部活動」豊橋ライターズ。コロナ禍で行動が制限される中、感染予防に気をつけながら取材に出かけ、独自の発信を試んでいます。今回はのんほいパーク(豊橋総合動植物公園)と、中央図書館で行われた羽田八幡宮文庫展での取材をもとに制作されたエッセイをご紹介します。

**夢見る羽田八幡宮文庫**

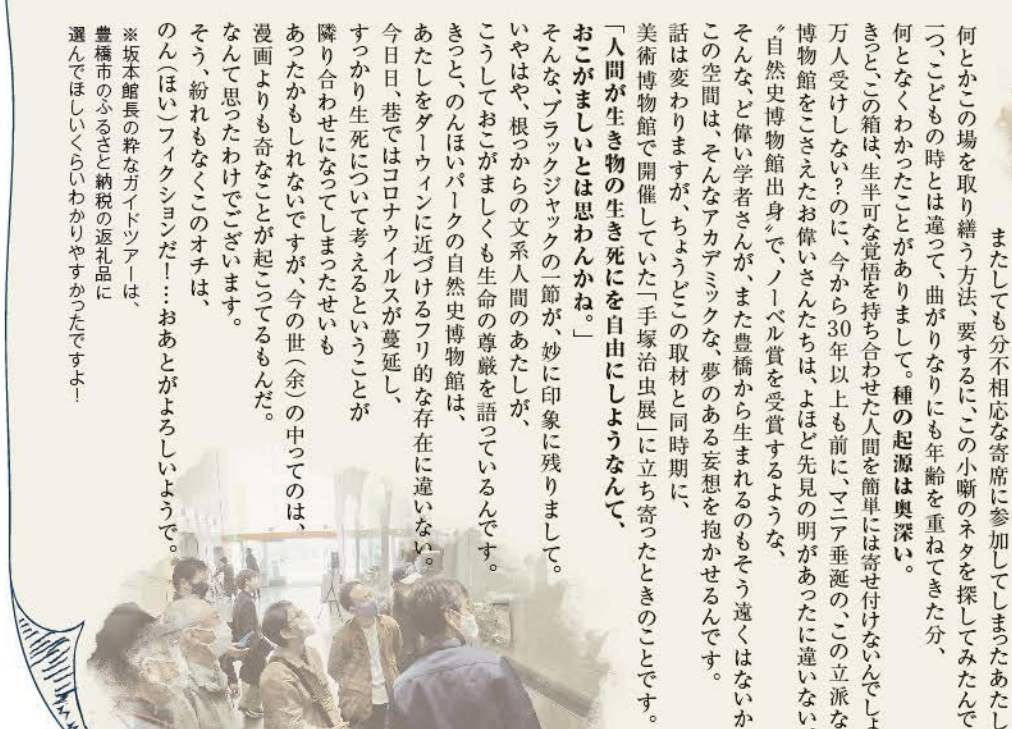
大川朝子



私はここで働いているのよ。後の時代では「図書館の職員」と言われるそうね。貴重な本を貸出して、希望の本を部屋(松蔭学舎)に運ぶのは私の仕事ね。本の表紙は似たものが多くて紛らわしいので、ここでは表紙にハコを押して、本箱に整理している。主は几帳面だから、ハコが曲がってしまわないように、印紙という道具を使っている。篆刻で使う道具みたいなものね。本の整理も分類にどのような内容で、請求番号を使ってどこの箱へ入れて保管するか決まっていますよ。本を貸すときは、名前やどんな本を貸したか閲覧の用紙に書いてもらっている。10冊までOKで、また貸しは禁止。汚したら弁償という決まりがあるのよ。時々偉い先生の講義をお願いしたり、本も出版したりもしている。「きんこのころえ」という本は無料で配っていて、安政地震の時には米や味噌を、米価高騰の時は米を配ったって聞かれています。この文庫は、おまんじゅう屋さんやいろんな人からの寄付でできたのよ。それから藩主からも援助してもらっているの。これって珍しいんだって。文庫の中にはもともとの珍しなものもあるそうよ。ご家老さまなどが公家に貢物を持ってきたものや、土産に下された書状とか、和歌を書いたものがあるなんて噂も。羽田八幡宮文庫展を見て、このように文庫は利用されていたのだから、と想像してみた。岩瀬学芸員から羽田八幡宮文庫について話を伺うことができた。文庫は、近代図書館のように入館料を徴収されていたようだが、資料の中には貴重で真贋の鑑定を依頼しているものもあるそうよ。◆秀吉下知書 朱印塗りつぶしあり(徳川政権を恐れたか)◆家康から上杉景勝(推定)宛の書状◆伝後二条天皇宸翰(鎌倉時代)◆後奈良天皇や後陽成天皇の宸翰など、本来なら宮内庁や御所だけにあつてもいいものもある。公家たちは大量の文書をもっていて、きれいな料紙に和歌を書いたものなどは武士たちに喜ばれたとされているので、土産とするのにもよったのだから。吉田藩家老はこれらの文書が散逸してしまつたのを恐れて文庫に奉納したと推測されているようだ。文庫の基礎資料を作るには時間がかかる。データも作成し、県や国の文化財を目指しているそうだ。羽田八幡宮文庫は周りを水路に囲まれている設置場所(蔵)のおかげで火災にも遭わず、戦災で焼失しなかったのは奇跡だと思う。その内容も予想を上回り驚いた。

**のん(ほい)フィクション 桑原 裕明**

あなたはね、根っからの文系人間なんですわ。そんなあなたが今回のライターズの取材活動で、大人になつて改めてのんほいパークの自然史博物館を訪れてみたんだ、この頃には気づかなかつた魅力が沢山詰まっていたんです。なんて、今回の演目にそんなオチをつけても、ありきたりで面白くない。つくり話になるからやめた。何せ「ダーウィンが来た」を見てウツトしてしまつたほどなんです。一生懸命、興味のあるアリの話をしてみたら、やっぱり無理がありました。やっぱ動物園の存在を大きくさせる、敷居が高すぎて、すぐそばの、楽しい動物園の存在を大きくさせる。フリのな場所なんだよな(笑)。そんな関係者の皆さんには甚だ失礼(ごめんさい! かな)。心の声を押し殺しては、大人になつて、またしても分不相応な寄稿に参加してしまつたあなたですが、(笑)この時とは違って、曲がりなりにも年齢を重ねてきた分、何となくわかつたことがありまして。種の起源は奥深い。きんこの箱は、生半可な資格を持ち合わせた人間に簡単に貸せかけなんですよ。万人受けしないのに、今から30年以上も前に、二ア垂直のこの立派な博物館をこさえたお偉いさんたちは、よほど先見の明があったに違いない。「自然史博物館出身で、ノーベル賞を受賞するような、そんな偉い学者さん、また豊橋から生まれるものさ、遠くはないかも。この空間はそんなアカデミックな夢のある妄想を抱かせるんです。話は変わりますが、ちょうどこの取材と同時に、美術博物館で開催していた「手塚治虫展」に立ち寄ったときのことです。「人間が生き物の生き死にを自由にしようなんて、おこがましいとは思わんかね。」そんなブラックジャックの二語が、妙に残りまして。いや、根っからの文系人間のあたしは、こうしておこがましいも生命の尊厳を語っているんです。きんこのほいパークの自然史博物館は、あたしをダーウィンに近づけるフリの存在に違いない。今日日、若でコナウイルスが蔓延し、すっかり生死について考えるという事が降り合せてなつてしまつたせいも、あつたかもしれないですが、今の世(ホ)の中では、漫画よりも奇なことが起こつてるもんだ。なんて思ったわけでございまして。そう、思つてもいいんですけど、のん(ほい)フィクションだ! おあとがよろしいように。



# まちなか図書館プレオープン!?

## 大豊つながるマーケットに出店しました。

2020年10月17日、水上ビルの大豊商店街で行われた「大豊つながるマーケット」にまちなか図書館も出店しました!図書館に入る本やビブリオガールのブックナンバーを並べ、まちなか図書館の雰囲気を取り取りで体感してもらおうという企画です。



かなかの盛況。チンドン屋さんが練り歩き、にぎやかに盛り上げてくれました。  
ご来館(ご来店?)くださった、小さなお子さん連れのご家族や、年配のご夫婦や若いカップル、ひとりであらりと寄ってくださったお兄さんお姉さんなど、いろいろな方にまちなか図書館を紹介できました。  
会場となった「みずのうえ」はまちなか図書館のまさに目と鼻の先。入ってこられたお客さ

んに「新しい図書館、どこにできるんですか?」と聞かれて「そこです!」と指させるのがちょっと面白かったです。たくさんの方に「楽しみにしています!オープンしたらゼッタイ行きますね!」と聞いていただけました。スタッフ一同大感激。  
ご近所となる商店街のみならず、マーケット参加のお店の方たちにご挨拶できたのも嬉しかったです。



# 本選びは 楽しく、苦しい!?

開館に向けて本選びが佳境を迎えつつあるまちなか図書館の司書たち。今回はその内幕をちょっとだけお届けします。

司書A さあ、今日は「まちづくり」関係の本の集め方と並べ方の相談ね。  
司書B そうそう、ウチは「豊橋のまちづくり」を担う人材の育成を図る場を目指しているからね(「豊橋市まちなか図書館(仮称)実施計画」より)。まちづくり、大事!司書C 「まちなか図書館ワークショップ」の参加者の方もまちづくりへの関心は高かったよ。司書A まちづくりのことを勉強しよう、って思ったときに、そういう本が図書館にあつたらいいもんね。  
司書B そうそう、だから「まちづくり」をキーワードに、出版されている本の情報を集めてくる、つのが前回の宿題だった

よね。どんな本があつた?  
司書C 実践の報告というか、事例の紹介みたいな本はたくさんあつたよ。ポータルとどにか有名だね。  
司書A 理論的な本では都市工学とか環境に着目した本もあつたな。  
司書B まちのプロモーションとか観光についての本も多いよ、福祉や交通も。  
司書C まちづくり、といってもいろんな分野にまたがっているから、並べ方にも工夫が必要だね。  
司書A 本の方向性に合わせて本棚に見出しをつけたりしよう。  
司書B 伝わりやすい見出しを考えなくちゃ。

司書C ところで、カフェとかマーケットとか、まちなかの「居場所」に関する本は面白そうだなが多いね。  
司書B ざぱり「サイドプレイス」って本もあるよ。  
司書AC 読んで読んで!  
司書B 実際「サイドプレイス」があるまちっていいよね。  
司書C ということは...  
司書A つまり...  
司書B まちなか図書館は...  
司書ABC 豊橋まちなかの「サイドプレイス」を目指す!  
司書A ということで、さあ、本を選ぼう!  
司書BC おー!

# 着任にあたってのメッセージ

主幹(まちなか図書館) 種田 滯



「図書館とは本の置き場ではありません。単なる書庫と思われがちですが、図書館とは、人々への知識を得たいと思ふ人が主役。そのために本があり、様々な方法があります。生涯をかけて何かを学ぶ場です」これは、映画「ニューヨーク公共図書館」に出てくる言葉です。図書館の役割について考えさせられる印象深い言葉でした。  
図書館に求めるものは人それぞれだと思います。静かな空間で読書したい、子連れで利用したい、イベントに参加したい...全てのニーズに星5つで応えることは難しいからこそ、まちなか図書館はチャレンジングな場所になりたいと思つています。そして冒頭の言葉通り、図書館の役割は訪れる人。皆さんと一緒に「あそこに行くとなんか面白いことがあるぞ!」と思えるような場を作っていけることを楽しみにしています。

ちょっとだけ紹介

# まちなか図書館に入る本

推しが尊すぎてしんどいのに語彙力がなさすぎてしんどい腐女子の感情類語辞典

2018年一迅社  
「推しがこんなに素晴らしいのに、それを伝える語彙が私にはない!!」こんなお悩みを解決できます。この本には、「嬉しい」「好き」などの気持ちに合った類語がいっぱい!使い分けできるよ  
うに意味と例文も載っています。これで推しへの愛を思う存分叫べますよ。  
まちなか司書N.O.



# PUBLIC HACK 私的に自由にまちを使う

菅尾和宏/著 学芸出版社 2019年  
公園や路上のようにみんなが利用する場所(公共空間)の使い方について窮屈じゃない?もともと個人が自由に「まち」を楽しんでみたいんじゃない?と問いかけ、新しい発想でまちを使う方法やアイデアを教えてください。誰かに用意してもらった楽しさもいいけど、まちのスキマで何ができるかなと自分なりに考えてみるのも面白そうですよ。  
まちなか司書S.O.



「豊橋市まちなか図書館」で検索  
詳しい内容については、ホームページをご覧ください。  
開館時期 令和3年11月下旬  
所在地 豊橋市駅前大通二丁目81番地 emCAMPUS EAST 2階・3階  
開館時間 9時~21時  
休館日 第4金曜日(祝日のときは前日) 年末年始 特別整理期間  
「ホームページをご覧ください。」



お問合せ  
豊橋市まちなか図書館開館準備室  
〒441-8025  
豊橋市羽根井町48(中央図書館内)  
電話 0532-21-8181  
発行日 令和3年3月  
制作 株式会社 エクスラージュ  
アートディレクター 共田慎性  
デザイン 山本誠之